

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 129 ※記入不要	提案機関名 神奈川県果樹組合連合会（県園芸協会）
要望問題 ナシ萎縮病対策の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 (背景) 県内の各産地で、なし萎縮病が発生しているが有効な対策を見いだせない。 (内容) なしの萎縮病が発生しているが、その技術対策の確立を引き続いて要望します。 (対象地域及び規模（面積、数量等）) なし栽培地域	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所 (②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場) ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 (⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場) ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署 :	生産技術部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名	病虫害診断同定事業 (なし萎縮病の原因究明と対策の確立)
対応の内容等	この課題については、「神奈川県におけるなし萎縮病の発生実態と罹病樹体組織の内部異常の観察」昭和63年：神奈川県園芸試験場研究報告第35号：牛山・青野が、報告されていますが、その後、平成11年度からプロジェクト研究を実施してきました。 その中で、①発生実態調査②発生原因の究明③被害回避対策の確立、について取り組んでおります。プロジェクト研究は平成15年度で完了となっておりますが、問題の解決に至っていません。なお、今後、樹体の加齢に伴って発症が増加することが予想されることから、今後も課題化して取り組んでまいります。
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	